



資料3

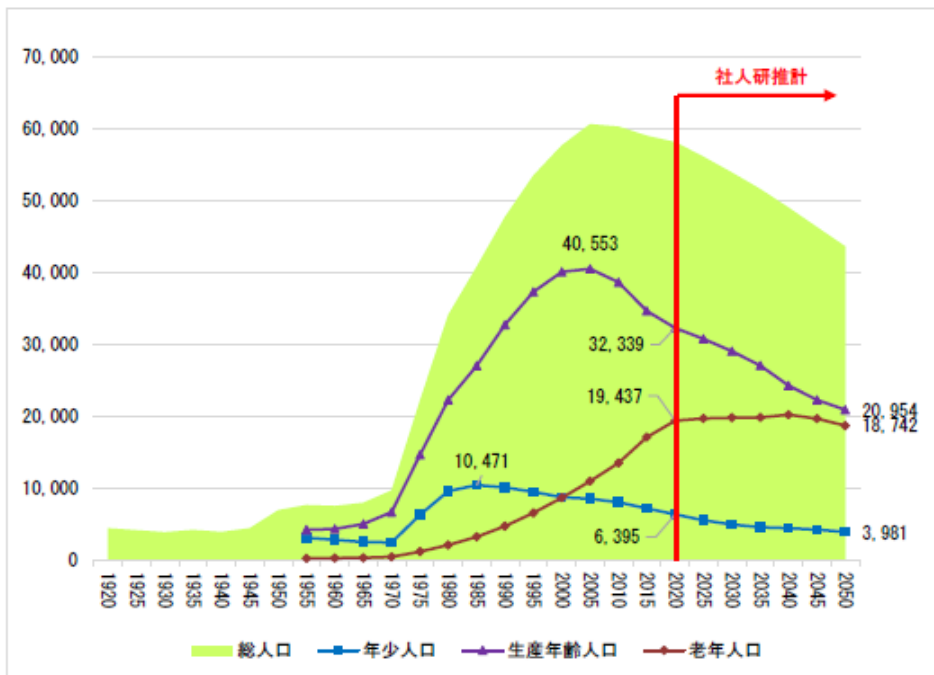
令和7年2月改定

北広島市人口ビジョンの概要

1 総人口の推移と将来推計①



【図表 4 年齢3区分別人口の推移と将来推計】

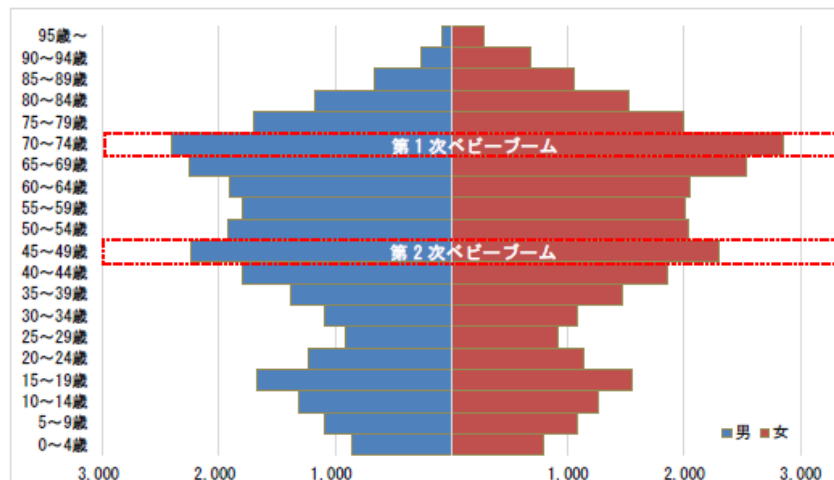


※2020年までは総務省「国勢調査」より、2025年以降は「社人研推計」より作成

- 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）推計によると、2050年は
 - 人口43,677人（2024年比△22.8%）
 - 男女とも34歳以下の各5歳年齢区分別人口が、1,000人を下回る。

【図表 2 2020年の人口ピラミッド】

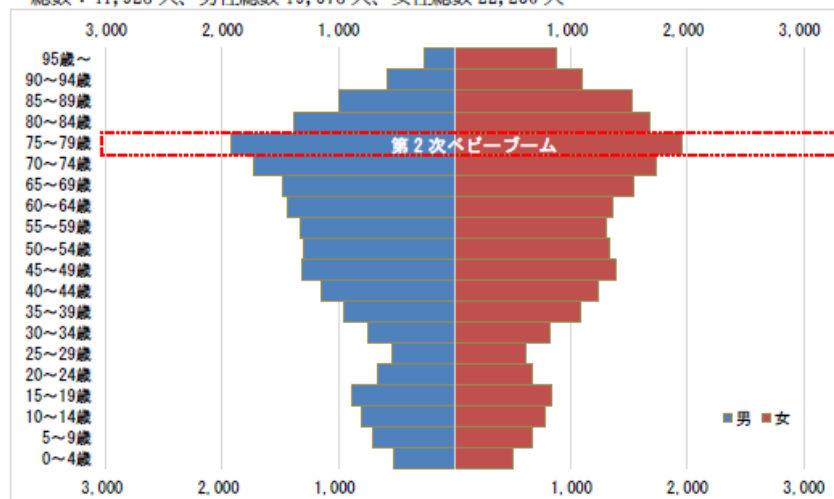
総数：58,171人、男性総数27,763人、女性総数30,408人



※総務省「国勢調査」より作成

【図表 3 2050年の人口ピラミッド】

総数：41,928人、男性総数19,678人、女性総数22,250人

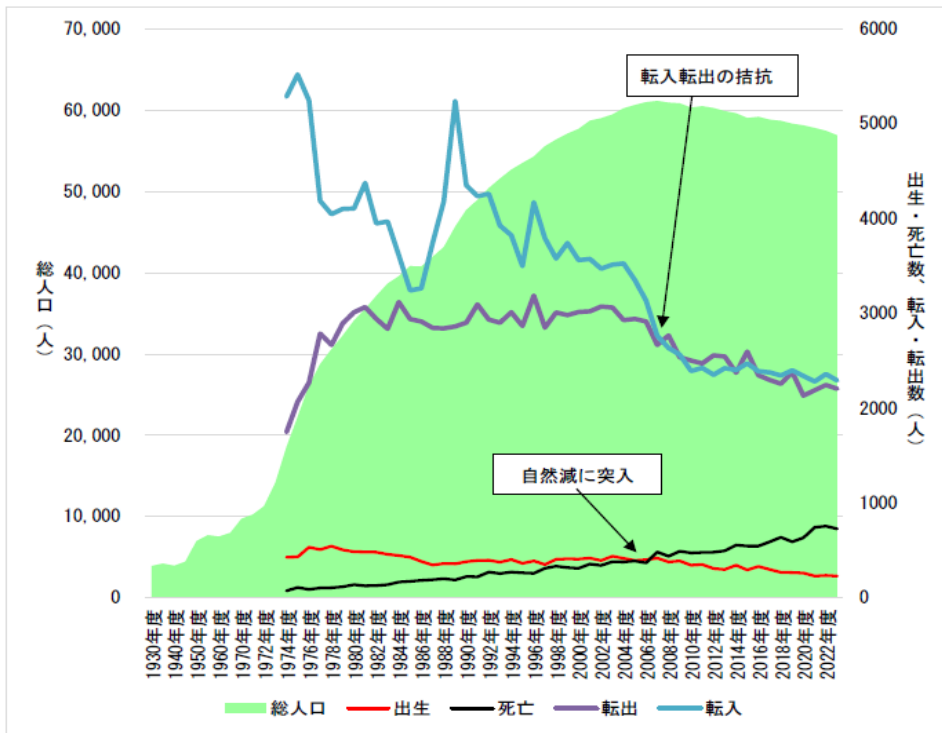


※社人研推計値より作成

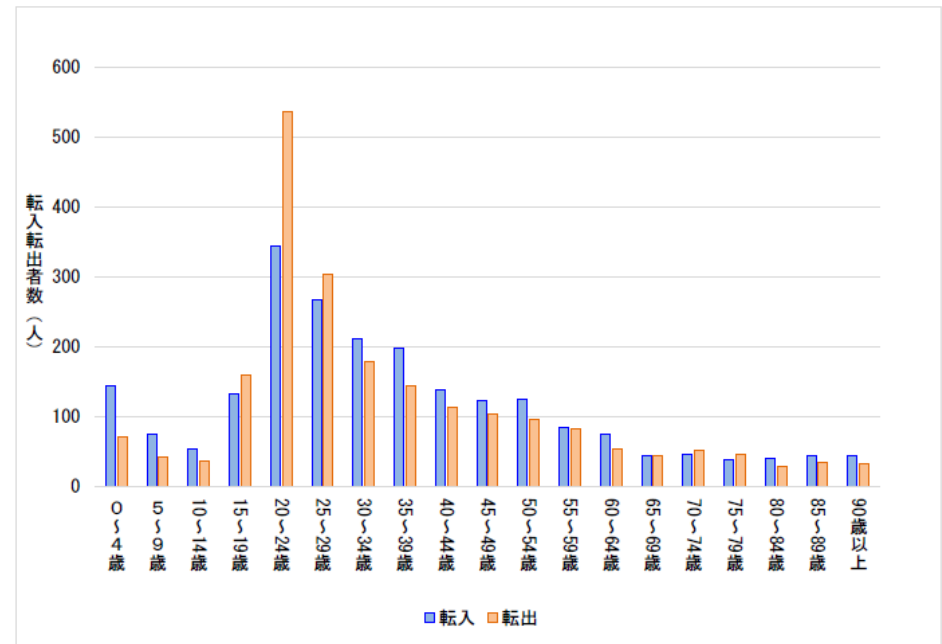
2 総人口の推移と将来推計②



【図表 5 人口、出生・死亡数、転入・転出数の推移】



【図表 8 年齢階級別の人口移動の状況 (2023年)】

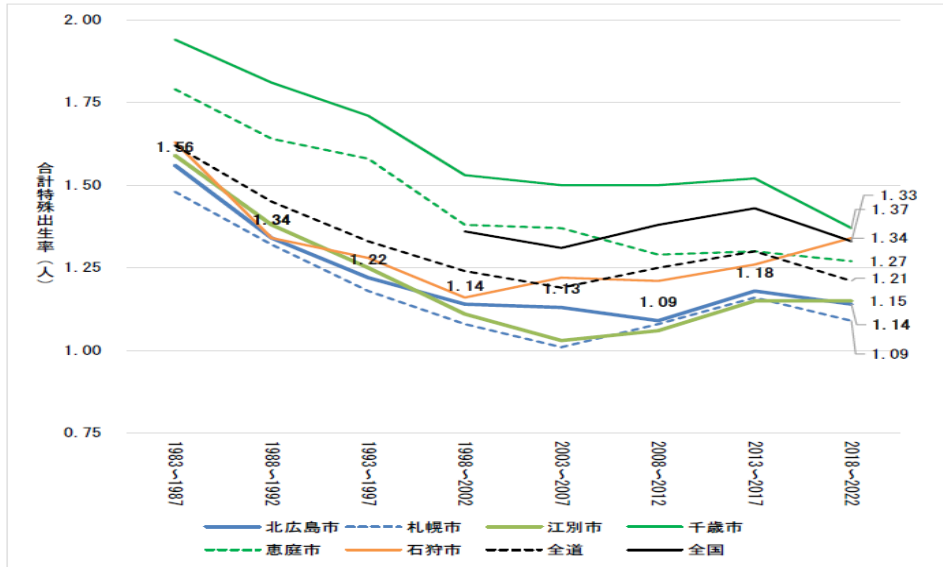


- 転出入数は、近年は、転入者数が若干上回っている。
- 自然増減は、少子高齢化（とくに高齢化）の影響により、死亡者数が増加傾向であり、自然減が続く。今後も、自然減が続く見込み。
- 年齢階級別の人口移動をみると、子育て世代の家族とみられる、0～14歳、30～54歳で転入超過。一方で、進学や就職世代である、15～29歳（とくに20～24歳世代）が転出超過。

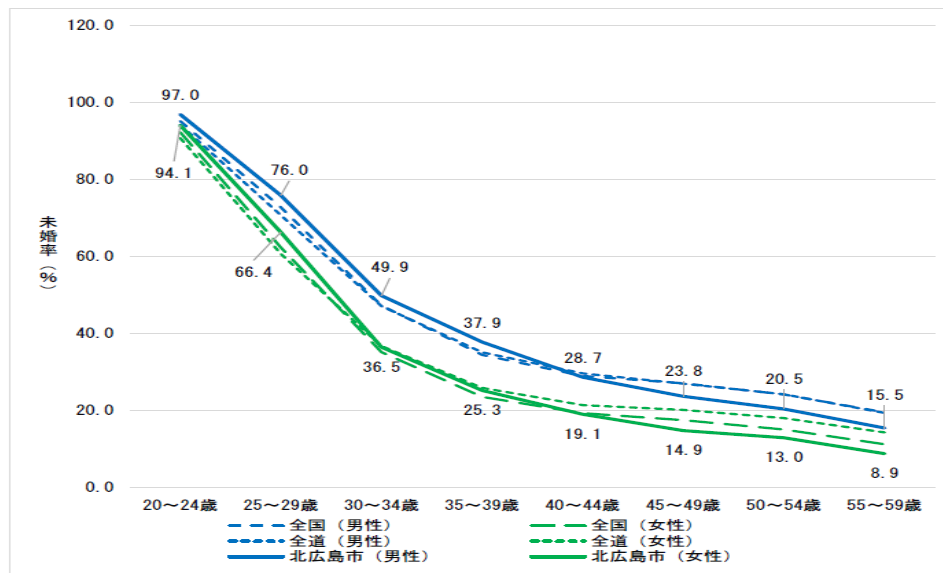
3 人口に与える要因



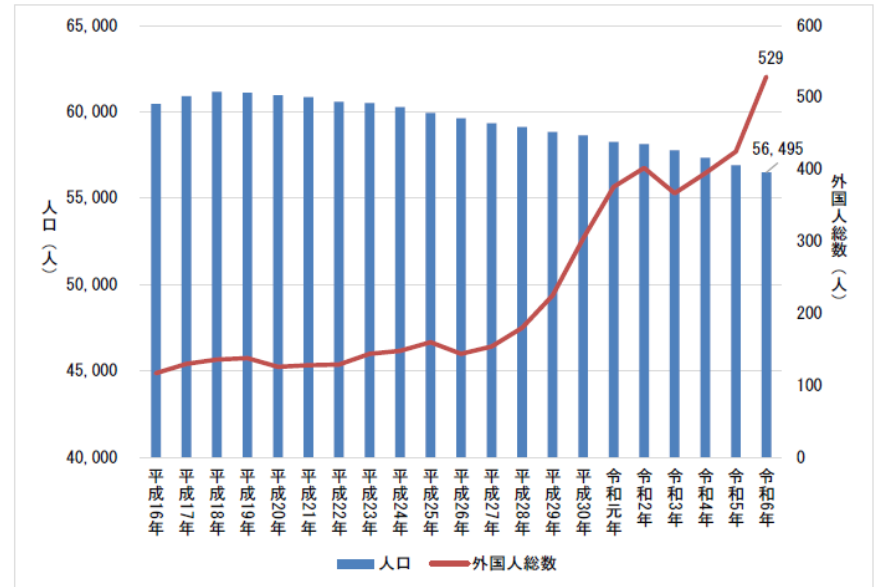
【図表 16 合計特殊出生率（ベイズ推計値）の推移と近隣市との比較】



【図表 17 未婚率（2020年）の比較】



【図表 20 外国人住民数及び対人口比】

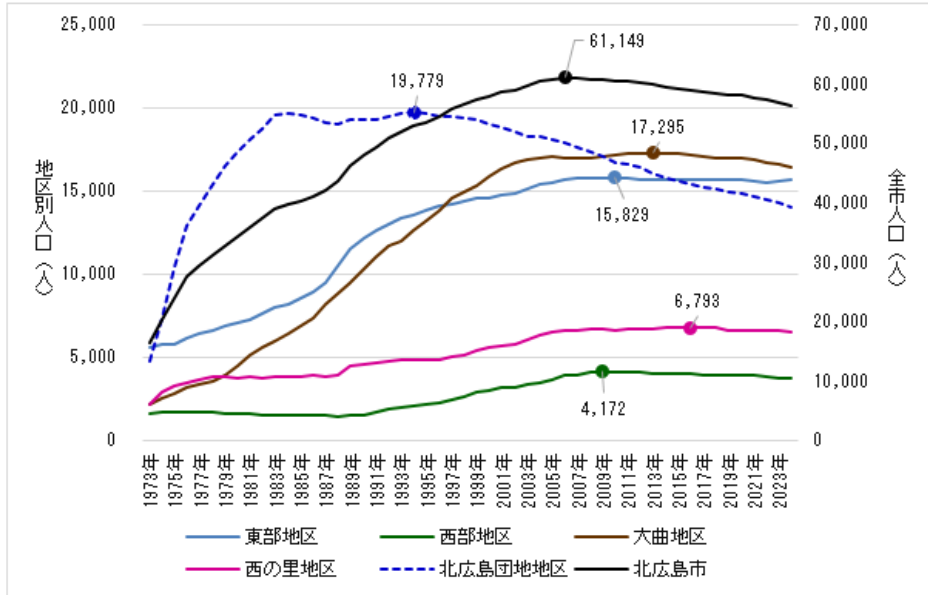


- 合計特殊出生率は、北広島市（1.14）は、全国（1.33）、全道（1.21）及び近隣市よりも低い。
- 未婚率は、全国・全道と比較し、男性は20～39歳まで、女性は20～29歳まで高い。
- 外国人住民は、増加傾向（R6年12月時点、529人）

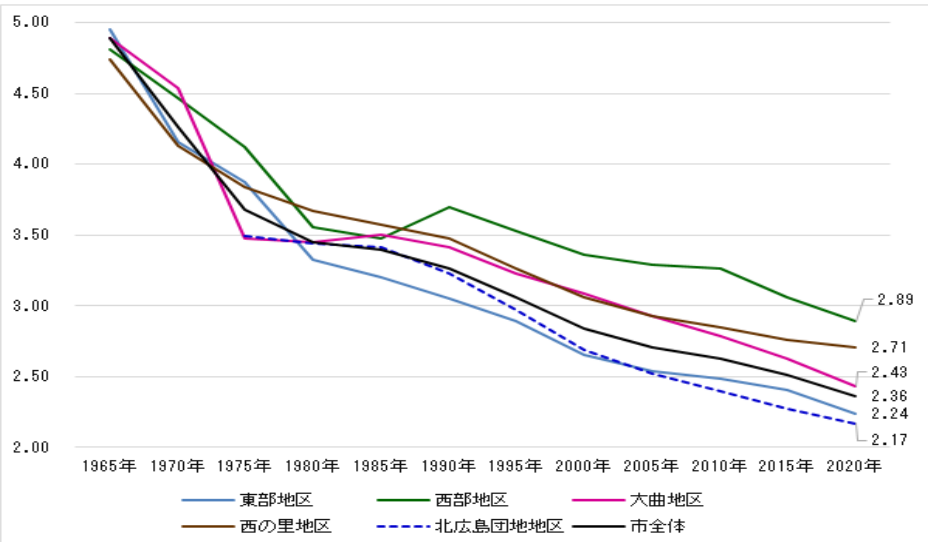
4 各地区の状況



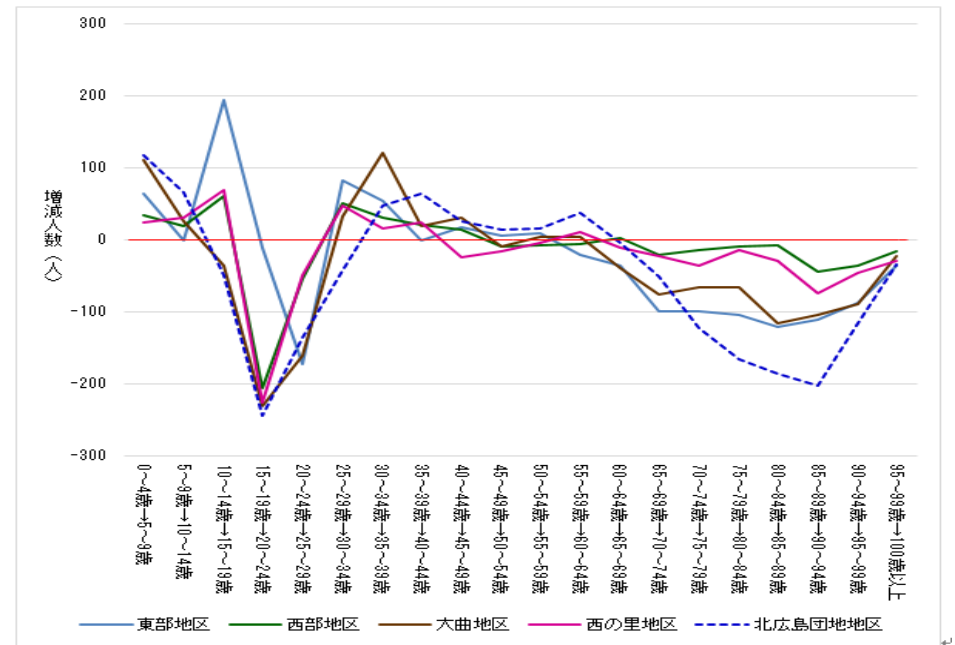
【図表 24 地区別人口の推移】



【図表 25 地区別・平均世帯人数の推移】



【図表 26 2015年→2020年の年齢階級別人口の推移(男性・女性合計)】

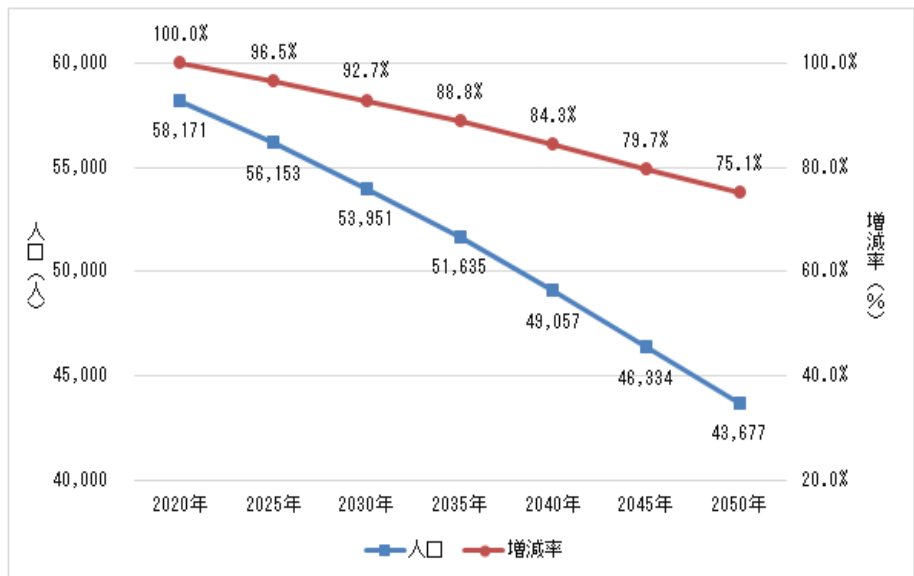


- 各地区の人口は、宅地の造成時期の違いにより、ピークが異なるが、全体として減少傾向。
- 世帯人員は、2020年は2.36人（1965年は4.89人）
- 人口推移は、東部地区は子育て世代の増加が、団地地区は高齢者の減少が特徴

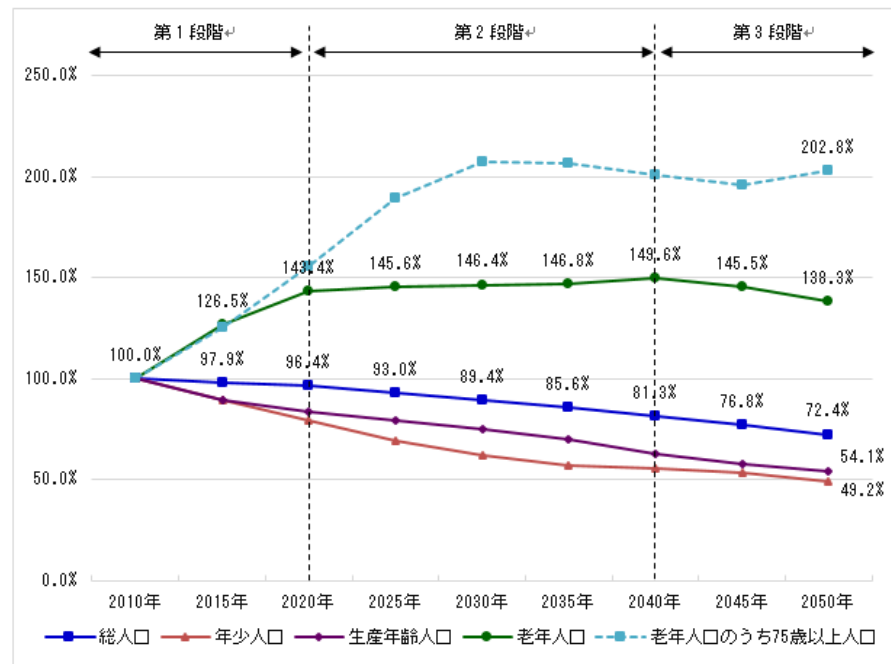
5 将来人口推計①



【図表 34 社人研推計による人口の推計】



【図表 35 人口減少段階の分析】

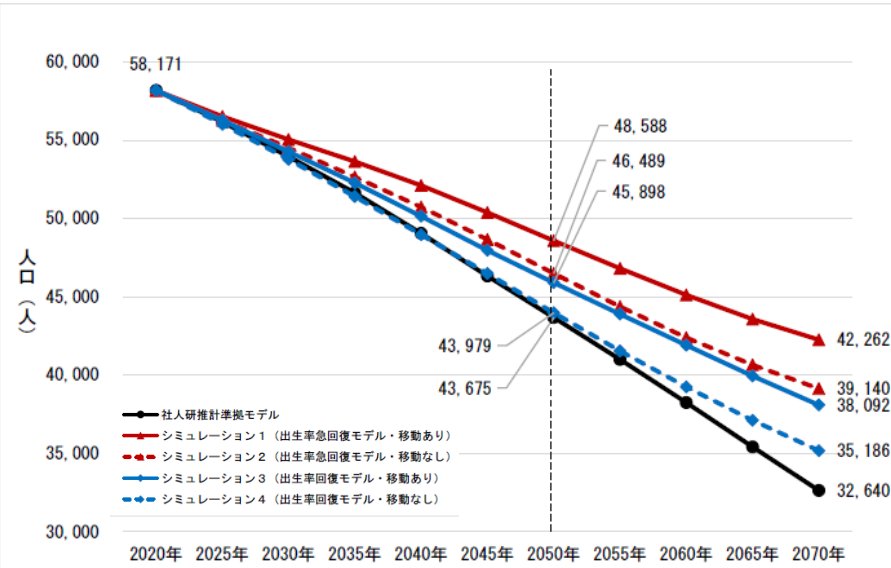


- 社人研推計によると、2050年の人口43,677人（2024年比△22.8%）（再掲）
- 2010年を100とすると、2050年に向け、総人口（72.4%）、年少人口（49.2%）、生産年齢人口（54.1%）と一貫して減少
- 老年人口は、2020年から2040年にかけて、横ばい傾向だが、2040年以降、減少に転じる。
- 老年人口のうち75歳以上人口については、2030年まで増加（207.4%）、2030年以降は横ばいとなる。

6 将来人口推計②



【図表 37 将来人口のシミュレーション】

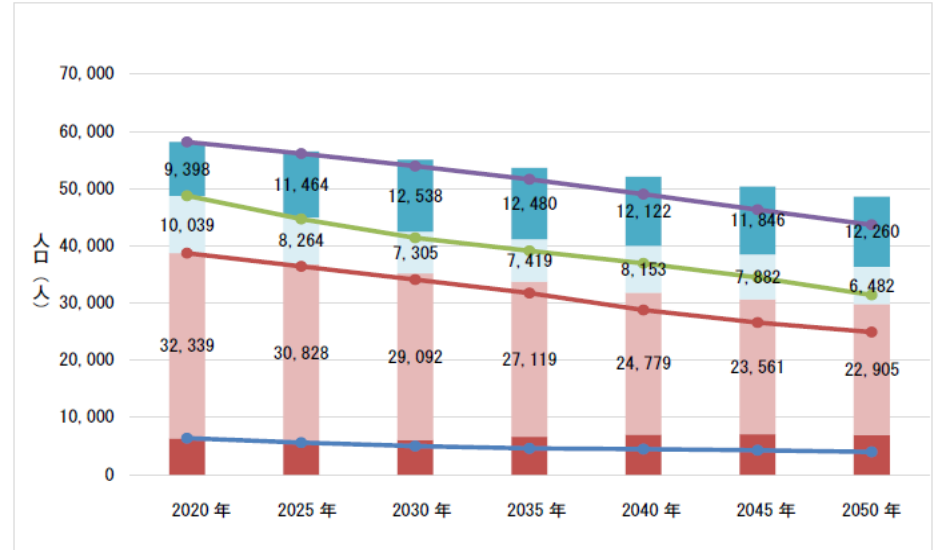


- ✓ 出生率急回復（合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年に2.07に上昇）
- ✓ 出生率回復（合計特殊出生率が2060年に2.07に上昇）
- ✓ 本ビジョン策定時に建設中の住宅や造成中の宅地等の影響は考慮していない

➤ 人口移動がある方が、人口減少が抑制される。

➤ すべての推計において、老年人口が約40%を占める。特に、75歳以上人口が25～28%となる。

【図表 41 社人研推計準拠とシミュレーション1の比較】



【図表 44 社人研推計準拠とシミュレーション4の比較】

